



クレーンニュース

ラフテレーンクレーンの安全装置 AML(過負荷防止装置)について

AML(過負荷防止装置)は、アウトリガ張出幅の設定、ブーム、シングルトップ、ジブの作業状態の設定を誤ると、自動停止機能が働かず、クレーンの転倒または破損による重大災害が発生する恐れがあります。災害を防止するため、次の点を十分理解のうえ、常に**正しいAMLの作業状態設定**を行ってください。

①《危険な設定例その1》

●ジブ張出状態なのに、誤ってブーム作業状態にすると

ブーム性能では安定の余裕がなく、自動停止する以前にクレーンが転倒することがあります。

②《危険な設定例その2》

●ジブ張出状態なのに、誤ってシングルトップ作業状態に設定すると

シングルトップ性能では安定の余裕がなく、自動停止する以前にクレーンが転倒することがあります。

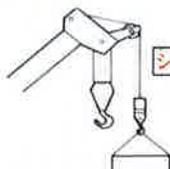


ジブ作業状態

③《危険な設定例その3》

●シングルトップ作業なのに、誤ってブーム作業状態に設定すると

ブーム性能ではシングルトップ強度の余裕が少なく、自動停止する以前にクレーンが破損することがあります。



シングルトップ作業状態

担当 中島

自動車ニュース

〈新技術紹介〉デュアルクラッチトランスミッション

2003年に市販車に初採用されて以降、性能の優位性から採用が急速に拡大しています。



DCTではクラッチとギアが奇数段・偶数段の2系統に分かれており、2系統を交互に繋ぎ変えながら変速を行います。変速時には次のギアが待機状態(例えば2速走行時には、1速または3速のギアが待機しています)であり、変速指令でもう一系統のクラッチに繋ぎ変えることで変速するので、変速に要する時間が極めて短く、変速比の差が小さいためショックも小さくなります。

クラッチ操作及び変速操作はコンピュータ制御により自動的に行われます(手動操作も可能です)。また、クラッチペダルがなく、変速操作が自動的に行われるものはオートマチックの一種として日本ではオートマチック限定免許で運転が可能です。



担当 藤森

建機ニュース

作動油を交換していますか?(交換しないとポンプやモーターの焼付きの原因となります)

作動油は機械の稼働とともによごれてきます。この汚れは異物の混入、オイルの酸化、水分の混入によるもので、機械の性能の低下、その他故障の原因となります。必要な時期に油の交換、清掃を行いましょう。

〈作動油の点検〉

- ① 透明で新油と同じ色をしていれば良好と判断してそのまま使用します。
- ② 透明だが新油と比べると薄い乳白色をしている場合、異種オイルが混入している可能性があるため粘度を調べます。
- ③ オイルの色が乳白色なら水の混入している可能性があるため、オイルの交換をするとともに内部クリーニングをします。水混入の原因も調べます。
- ④ もとの色相だが乳色がかっている場合は気泡が混入している可能性があるため、タンクの油量、ホースおよび配管損傷または漏れ等の異常の有無を点検します。
- ⑤ 透明だが小さな黒点がある場合は異物が混入している可能性があるため、オイルを交換し、クリーニングをします。
- ⑥ オイルが黒褐色に変色して異臭がする場合は、オイルが酸化、劣化しているためオイルを全量交換します。また、ポンプ、モーター等の焼付き等を重点的に点検します。

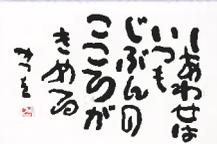
担当 若林

編集後記

心の詩 相田みつをの世界展

4月21日(土)~6月17日(日)

高梁市成羽美術館



ゴールデンウィークに“相田みつを”展を見に行きました。

『しあわせはいつもじぶんのこころがきめる』や

『あなたにめぐりあえてほんとうによかった ひといてもいい こころからそういつてくれるひとがあれば』など、心に響く言葉の数々で多くの人に感動を与え続けている書家であり、詩人です。どこかで必ず一度や二度は聞いたことがあるフレーズではありませんか?

それと、成羽美術館の建物も素晴らしいので一見の価値あり・・・!

成羽川をイメージした流水庭や自然を借景としたコンクリートのモダンな外観は日本屈指の建築家安藤忠雄氏の設計によるものです。香川県直島の地中美術館もそうですよ。



美術館の帰りに美星町に寄り道しました。“星の郷青空市”という道の駅です。

(おばちゃんは道の駅が大好きです。) 昼食はおそばを食べましたが、とても美味しい・・・!! 食後にはお決まりのジェラートも食べましたが、本格的でこれも美味しい・・・!! 母の日が近かったので、カーネーションの鉢植えを買いましたが、安くて綺麗・・・!! 大満足でした。

担当 八木